



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,700	4.4	32	8.9	36	6.3	24	40.4
2022年3月期第3四半期	3,543	1.9	35	36.8	38	34.5	40	9.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 30百万円 (19.3%) 2022年3月期第3四半期 38百万円 (24.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	34.35	
2022年3月期第3四半期	57.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	3,238	1,102	34.0	1,575.52
2022年3月期	2,850	1,078	37.8	1,541.65

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,102百万円 2022年3月期 1,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	3.6	14	47.0	16	44.6	10	67.5	14.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	705,500 株	2022年3月期	705,500 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	5,745 株	2022年3月期	5,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	699,755 株	2022年3月期3Q	699,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9
(その他注記事項)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の再拡大や長期化しているウクライナ問題、原油などのエネルギー資源や原材料価格、販売価格等の度重なる値上げ、円安の進行等、景気の先行きを引き続き不透明にしております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、コロナ禍における在宅勤務等により家庭内食品に対する需要は底堅く推移いたしました。多くの外食産業がバラエティに富んだテイクアウトを開始したこと等により消費者の選択肢が広がり、巣ごもり需要は落ち着きを見せてきております。当社グループにおきましては、商談自粛による営業活動の縮小、集客催事の中止や規模縮小が重なり、対面販売をする高額商品（主に健康食品）は試食の復活も遅れ苦戦することとなりました。

このような経営環境の下、化学調味料を使わない無添加自然食品専業企業として50年余の年月を積み重ねてきた歴史に信頼をいただいている当社グループは、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』（2020年4月1日～2023年3月31日まで）を作成しました。その最終年度となります当連結会計年度におきましては、オーガニック&プラントベースの分野でカテゴリーNO.1企業を目指し、「withコロナ」を前提とした食品市場における新しい営業活動を想定し、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「調味料」が、ごまドレッシング等の売上減があったものの、マヨネーズ等の売上増により前年同四半期比88百万円増（7.7%増）の12億34百万円、「嗜好品・飲料」が、OEMのチョコレート等の売上減があったものの、メイシーシリーズの新商品の売上増により前年同四半期比48百万円増（7.0%増）の7億44百万円、「副食品」が、おせち商品の伊達巻等の売上減があったものの、さば缶詰等の売上増により前年同四半期比40百万円増（4.3%増）の9億67百万円、「栄養補助食品」が、ハトムギ酵素等の売上減があったものの、コラーゲン等の売上増により前年同四半期比3百万円増（3.5%増）の1億8百万円、「乾物・雑穀」が、小麦粉等の売上減があったものの、新商品のプロテイン等の売上増により前年同四半期比ほぼ同額の2億8百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、ココナッツオイル等の売上増があったものの、えごま油等の売上減により前年同四半期比14百万円減（3.9%減）の3億68百万円、「その他」が、超音波歯ブラシ等の売上増があったものの、ダニよけスプレー等の売上減により前年同四半期比8百万円減（11.0%減）の69百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、37億円（前年同四半期比1億57百万円増、4.4%増）となり、売上総利益率は25.1%と前年同四半期比0.1ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は8億97百万円（前年同四半期比40百万円増、4.7%増）となり、営業損益につきましては、営業利益32百万円（前年同四半期比3百万円減、8.9%減）となり、経常損益につきましては、経常利益36百万円（前年同四半期比2百万円減、6.3%減）という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円（前年同四半期比16百万円減、40.4%減）となりました。尚、前年第3四半期連結累計期間におきましては、投資有価証券売却益が13百万円発生いたしましたので、特別利益に計上しております。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第3四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半 期比	
油脂・乳製品	383,688	10.8	368,756	10.0	3.9%減	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油、カメリナオイル
調味料	1,146,711	32.4	1,234,905	33.4	7.7%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレールー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	695,099	19.6	744,035	20.1	7.0%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)・豆乳・はちみつ製品
乾物・雑穀	208,516	5.9	208,522	5.6	0.0%増	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鱈節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末・おから
副食品	926,972	26.1	967,147	26.1	4.3%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	104,889	3.0	108,530	2.9	3.5%増	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス・ビタミンC
その他	77,655	2.2	69,076	1.9	11.0%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー・歯磨き粉・ウイルス対策品など
合計	3,543,534	100.0	3,700,974	100.0	4.4%増	—

② 仕入実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	299,506	11.2	291,859	10.4	2.6%減
調味料	868,501	32.6	933,804	33.2	7.5%増
嗜好品・飲料	543,200	20.4	584,791	20.8	7.7%増
乾物・雑穀	177,612	6.7	183,205	6.5	3.1%増
副食品	629,475	23.6	679,566	24.2	8.0%増
栄養補助食品	71,994	2.7	65,537	2.3	9.0%減
その他	74,505	2.8	74,474	2.6	0.0%減
合計	2,664,796	100.0	2,813,238	100.0	5.6%増

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3億75百万円の増加となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の35百万円減少などがあったものの、「受取手形及び売掛金」の3億36百万円増加及び「商品及び製品」の60百万円増加などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円の増加となりました。この主な要因は、「保険積立金」の12百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3億87百万円増加し、32億38百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3億26百万円の増加となりました。この主な要因は、「支払手形及び買掛金」の3億23百万円増加などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて37百万円の増加となりました。この主な要因は、「長期借入金」の39百万円増加などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億64百万円増加し、21億35百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて23百万円の増加となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の17百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円の計上、配当総額6百万円）及びその他有価証券評価差額金6百万円増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（2022年5月20日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,366,781	1,331,146
受取手形及び売掛金	665,836	1,002,753
商品及び製品	220,674	281,176
仕掛品	42	335
原材料及び貯蔵品	23,081	28,031
その他	35,655	43,903
貸倒引当金	△75	△108
流動資産合計	2,311,997	2,687,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	316,147	322,325
減価償却累計額	△260,248	△264,781
建物及び構築物（純額）	55,899	57,544
土地	88,371	88,371
リース資産	36,599	36,599
減価償却累計額	△18,073	△21,791
リース資産（純額）	18,526	14,808
建設仮勘定	1,856	1,004
その他	203,601	211,099
減価償却累計額	△176,967	△184,830
その他（純額）	26,633	26,268
有形固定資産合計	191,287	187,997
無形固定資産		
その他	12,660	12,182
無形固定資産合計	12,660	12,182
投資その他の資産		
投資有価証券	60,751	70,307
保険積立金	223,327	235,981
繰延税金資産	16,903	14,007
その他	34,174	31,447
貸倒引当金	△807	△903
投資その他の資産合計	334,349	350,839
固定資産合計	538,297	551,020
資産合計	2,850,294	3,238,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,531	783,719
短期借入金	485,887	491,727
リース債務	5,695	4,797
未払法人税等	12,372	6,984
賞与引当金	22,248	10,410
その他	103,205	118,936
流動負債合計	1,089,939	1,416,574
固定負債		
長期借入金	325,480	364,482
リース債務	11,343	8,188
役員退職慰労引当金	127,500	134,800
退職給付に係る負債	183,021	181,658
その他	34,230	30,078
固定負債合計	681,574	719,208
負債合計	1,771,514	2,135,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	117,155	134,191
自己株式	△11,154	△11,154
株主資本合計	1,072,431	1,089,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,349	13,008
その他の包括利益累計額合計	6,349	13,008
純資産合計	1,078,780	1,102,475
負債純資産合計	2,850,294	3,238,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,543,534	3,700,974
売上原価	2,650,825	2,771,101
売上総利益	892,708	929,873
販売費及び一般管理費	※ 856,737	※ 897,103
営業利益	35,970	32,769
営業外収益		
受取利息	38	31
受取配当金	1,819	2,086
仕入割引	2,286	2,494
破損商品等賠償金	313	421
保険金収入	—	2,479
その他	1,455	1,808
営業外収益合計	5,913	9,321
営業外費用		
支払利息	3,356	3,401
棚卸資産廃棄損	—	2,507
その他	117	182
営業外費用合計	3,474	6,091
経常利益	38,409	36,000
特別利益		
固定資産売却益	131	—
投資有価証券売却益	13,537	—
特別利益合計	13,669	—
特別損失		
固定資産除却損	85	13
保険解約損	232	—
店舗閉鎖損失	165	—
特別損失合計	483	13
税金等調整前四半期純利益	51,595	35,987
法人税、住民税及び事業税	11,271	11,953
法人税等合計	11,271	11,953
四半期純利益	40,324	24,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,324	24,033

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	40,324	24,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,301	6,659
その他の包括利益合計	△2,301	6,659
四半期包括利益	38,022	30,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,022	30,693
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

（その他注記事項）

（四半期連結損益計算書関係）

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
荷造運送・保管費	258,975千円	270,085千円
貸倒引当金繰入額	40	129
給料手当及び賞与	218,848	224,265
研究開発費	27,001	28,055
退職給付費用	11,488	11,015
役員退職慰労引当金繰入額	7,900	7,300
賞与引当金繰入額	8,432	10,190

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
減価償却費	18,677千円	19,036千円